



# 被災者支援、防災体制の整備など、県民のいのち・暮らし守るために全力

## 日本共産党の小池晃党書記局長

## (参議院議員)

## 等が達増知事や被災地の首長と懇談

2月19日、日本共産党の小池晃参議院議員(党書記局長)と岩淵友参議院議員は、千田美津子・斉藤信・高田一郎の3名の日本共産党県議と共に、達増拓也岩手県知事を表敬訪問するとともに、陸前高田市の戸羽太市長・大船渡市の戸田公明市長等と、復興の現状と課題、要望等について懇談しました。

**被災地の交通確保は深刻な課題  
国に公共交通の新たな施策を**

戸羽市長は、「区画整理事業は時間がかかり、待ち切れずに民有地を確保し移転したため、空地が増えている。一日も早く無駄のない土地利用の制度が必要だ」と述べました。また、戸田市長は、「被災地をすべて買い取ることはできず、市有地と民有地が点在する中で、有効活用が難しい」と述べました。さらに両市長は、「被災地の交通確保は深刻な課題となっており、国に公共交通の新たな施策」を求めました。



岩手県庁で達増知事と懇談・握手する小池書記局長(中央)



1月17日県南広域振興局長に要望する共産党議員団(中央が千田県議)

### 共産党議員団 が県交渉

**小児科・産婦人科医師確保  
子どもの医療費助成拡大を**

日本共産党の中部地区議員団(奥州市・花巻市・北上市・金ケ崎町・西和賀町)は、細川倫史県南広域振興局長に、各市町村の切実な課題として挙げられた、国保税の協会健保並みの引き下げや深刻な医師確保の問題、子どもの医療費助成の拡大等について要望書を提出、さらに関係部課長と懇談しました。



陸前高田市の戸羽太市長(災害公営住宅)中庭で、移動販売車で買い物を皆さんと懇談する議員団。

### 教員の働き方 改革

**教職員の多忙化解消の  
ため、業務の削減、正  
規雇用職員の増員を**

### 2019年度予算審議

算審査において、荒廃農地への対応、中山間地域総合整備事業、6次産業化の取組について質問。千田議員は、荒廃農地への対応として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など国の制度が今年度で廃止されることから、今後の事業のあり方について質

### 農業

**耕作放棄地の解消のた  
め事業継続を国に要望を**

千田議員は、農林水産部の予算審査において、荒廃農地への対応、中山間地域総合整備事業、6次産業化の取組について質問。千田議員は、荒廃農地への対応として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など国の制度が今年度で廃止されることから、今後の事業のあり方について質



### 土砂災害 歩道の整備

**県民の命を守るため  
土砂災害警戒区域の  
指定を早めよ!**

問。担当課長は、「この事業は、営農再生を目的に平成21年度から取り組んできたが今年度で終了となるもの。県としては来年度以降の措置を要望しているが、まだ決まっておらず、県としては、暫定的に中山間事業などを使って継続したい」と述べました。



## 水沢病院の小児科休止に伴う県立病院への影響は…



中、直ぐに常勤医師を配置する  
という事には  
ならないが、努力  
する」と述べました。

3月19日、開催された環境福祉委員会において、千田県議は昨年12月から休止となった水沢病院の小児科問題で、周辺の県立病院への影響がどのようなものかと質問。県医療局の担当課長は、「磐井病院の入院は、前年度に比べ12月が178人、1月は123人増えている。が、一関病院の産婦人科が昨年4月から廃止されているため、磐井病院がその分の対応も行っているための増もあるものと考え、今のところ単純には判断できない」と答えました。

千田議員は、胆沢病院・磐井病院・中部病院など、周辺の県立病院の入院・外来の状況を見ると、水沢病院休止に伴う影響がこうだと断定できる状況にはない。しかし、胆沢病院の患者数が、12月・1月は入院が減っている事、外来は12月が減り、1月・2月と増えている事。これらからも、最も近隣である胆沢病院の小児科常勤医師の体制を強化する事が重要だと指摘し、対応を求めました。答弁に立った医療局は、「全体の小児科医師が不足している